第2学年 道徳科学習指導案

指導者 京都市立伏見南浜小学校　佐賀 志保

1. 日時　　令和8年 11月13日（金） 第5校時（13:10～13:55）
2. 学年・組　第2学年 1組（27名）
3. 主題名　「ゆう気を 出して」 善悪の判断、自律、自由と責任 A－（1）
4. 教材名　「ある日の くつばこで」（「生きる力2」日本文教出版）

5. 主題設定・教材について

（1） ねらいとする道徳的価値について

A－（1）善悪の判断、自律、自由と責任の1・2年生の段階では、「よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。」が、指導の観点として挙げられている。人としてやってよいこと、やってはいけないことを区別したり、判断したりすることは、幼い頃からいろいろな経験を積み重ねて、身につけていくべきことである。そして、さまざまな場面で善悪の判断が迫られたとき、自身が正しいと思うことを選択し、実践できることが大切である。しかし時には、自身の感情や立場を守るために、正しくない行動をしたり、他者の正しくない行動を見過ごしたりすることもある。複雑な関係性の中で、子どもたちが正しいと思うことを行動に移すことの難しさを感じる現状もある。そのような現状だからこそ、正しいと思うことを行うよさに目を向けさせ、理解することを通して進んで行おうとする態度を育てたい。

（2） 教材について

本学級の児童は、これまでの学習や生活経験を通して、やってよいことと悪いことを判断する力は概ね身に付いている。しかし、友達に流されてしまったり、友達のよくない行動を見過ごしてしまったり、自分の考えとは異なっていても周囲に合わせてしまったりする姿が見られる。このことから、善悪の判断はできていても、自分の感情や友達との人間関係が影響し、正しいと思ったことを行動に移すことに難しさを感じている児童が少なくないと感じている。

本時では導入において、事前アンケートで集めた「正しい行動がとれなかった経験」を取り上げる。友だちの経験を知ることで、そのような経験は誰にでもあることに気付き、自分自身の課題として教材に向き合えるようにする。また、教材の主人公の心情や行動について考える活動を通して、「なぜ正しいと分かっていても行動できないのか」「どうすれば行動できるのか」を考え、自分の気持ちを見つめる機会とする。これは、自分の感情や行動を振り返り、より望ましい行動へと調整しようとする自己調整力の育成につながる。さらに、終末では「これからどのようにしていきたいか」を振り返りとして記述し、友達と交流する活動を行う。自分なりの目標や行動を主体的に選択し表明することで、自己決定する力を育み、今後の生活実践へとつなげていく。

6. 本時のねらい

正しいと思うことを勇気をもって行うと心が晴れることに気付き、正しいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。

7. 本時の評価（評価方法）

まり子さんの気持ちを通して、よいと思ったことをはっきりと言い、よいと思うことを進んで行おうとしている。

（ワークシート・発言）

8.　本時の展開

	学習活動	○発問◎主発問 ・予想される児童の反応	●支援 ○留意点 資質能力
導入	1.善悪の判断について考える。	○こうした方がいいのにと思ったけれどできなかったことはありますか。 ・廊下を走っている友だちがいたけれど、何も言えなかった。 ・ボールをけっていたけれど、止められなかった。 正しいと思うことをすると、どんなよいことがあるのかな。	●正しいと思いながらできなかった経験を想起できるよう事前アンケートを活用する。
展開前段	2.教材「ある日のくつばこで」を読んで考える。	○「誰にも言わないでね。」と言われたまり子さんは、どんなことを考えていたでしょう。 ・「やめなよ。」って言わないと。 ・でも「誰にも言わないでね。」って言われたから言いづらいな。 ○靴箱に靴を戻したのに、心が曇っていたまり子さんは、どんなことを考えているのでしょう。 ・「だめだよ。」ときちんと伝えられなかった。 ・自分は何もできなかったな。 ◎「そうだ勇気をだそう。」と決心し、まり子さんの心が晴れたのは、どうしてでしょう。 ・正しいことをしよう、と決心したから。 ・かずみさんに直接言おうと決めたから。	●挿絵の横に吹き出しを書き、誰の気持ちを考えればよいかが視覚的に分かるようにする。 ●「心のメーター」で、まり子さんの心のモヤモヤがどのくらいなのかを表すことで、友だちと比較しながら交流できるようにする。 ●モヤモヤした気持ちが視覚的にわかるように、意見と共に心のお天気カード（くもり）を示す。 自己調整力 ●意見と共に心のお天気カード（晴れ）をつけることで、まり子の気持ちの対比が視覚的にわかるようにする。
展開後段	3.学習のまとめを行う。	○正しいと思うことをすると、どんなよいことがあるのでしょう。 ・心がすっきりする。 ・みんなが気持ちよく過ごせる。	○もう一度めあてに返り、まとめを行う。
終末	4.学習の振り返りをする。	○今までの自分を振り返って、みんなはこれからどうしていこうと思いますか。 ・これからは、掃除中はしっかりと掃除をしたい。 ・落とし物に気付いたら、面倒くさがらずに拾いたい。	●意見を友だちと交流し、多様な考え方に触れられるようにする。 自己決定力 ○正しいことをすると自分も周りも気持ちよく、過ごしやすくなることに気付き前向きな気持ちで授業を終えられるようにする。
板書計画	だい25回　道とく めあて　正しいと思うことをすると、どんなよいことがあるのかな。 「ある日の　くつばこで」 かずみ としお まり子 挿絵① 挿絵② 心のメーター 「正しいことができる人が、いちばんゆう気がある人なのよ。」 「そうだ、ゆう気をだそう。」 挿絵③ すっきり 気もちがいい。 みんなのため		